

浜の民話

たがじょう

多賀城市

周辺の民話

2011・3・11

大津波に襲われた沿岸集落で
かつて聞いた

むかしばなし
はなしそのハ
いいたえ



民話の語り手をたずね、
その土地に伝承された民話を聞き歩く活動を
約45年にわたり続けてきた
「みやぎ民話の会」が、
多賀城市周辺で、
かつて聞いた民話を紹介いたします。

2020年11月6日(金) - 12月27日(日)

※11月26日(木)は休館日

時間 9:00~20:00

せんだいメディアテーク 7階ラウンジ

観覧無料

- 母子石
- 母子沢の夜泣き石
- お寺の犬
- 末の松山、波越さじとは
- ネブカの橋
- 狐たち
- 子守学校
- 帯に短し、たすきに長し
- 弁慶の足跡と
- 牛若丸の下駄の齒の跡
- 南宮の女神様と山王様

2011・3・11

大津波に襲われた沿岸集落でかつて聞いた
いいつたえ、むかしばなし、はなし

この展示で紹介するお話は、みやぎ民話の会が、1985年から1988年にかけて、宮城県から委託を受けて行った「宮城県民話伝承調査」の際に聞き書きした民話です。

語った方の大部分は、震災の前にすでに亡くなっています。そして、語られた土地の姿はいま大きく変化し、若い人の多くは浜を去ることを余儀なくされるという現状もあります。しかし、手許に残った語りは、かつてここで生きていた人々の姿を、ありありと伝えてくれます。

2011年3月11日の大津波で大きな被害をこうむった宮城県内の沿岸集落でかつて聞いた話から、小野和子が10話程度を選んで紹介するシリーズ展です。

第8回目となる今回は、多賀城市で聞いた10話をご紹介します。

DVD 紹介 DVD が完成しました

さぶさわ
『塩竈市浦戸寒風沢の
つちみ じゅうろう
土見壽郎の語り [1]～[2]』



語り手 土見壽郎
(大正14年生)
聞き手 みやぎ民話の会
撮影年 2018年

制作 みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム
せんだいメディアテーク

メディアテーク2階「映像音響ライブラリー」/
視聴覚教材ライブラリーにて、貸出・視聴いただけます。

「民話 声の図書室」とは

「民話 声の図書室」プロジェクトチームでは、みやぎ民話の会が記録してきた民話語りの映像・音声を、誰もが活かせる共有財産として、後の世代に手渡していくことを目指しています。民話語りの CD 作成、語りの映像撮影と DVD 作成、震災前に聞いた「浜の民話」の紹介、民話について自由に考え語り合う「民話ゆうわ座」の企画運営などを、せんだいメディアテークと協力して行っています。

「みやぎ民話の会」とは

宮城県を中心に東北地方の民話採録・民話集編纂に従事してきた小野和子氏によって、1975年に設立されたサークルです。同県内を中心に山の村や海辺の町を歩き、そこで聞いた民話を記録し、その一部は『みやぎ民話の会叢書』としてまとめています。また、語り手と膝を交え、地域の伝承の語りに直に触れながら勉強をする「みやぎ民話の学校」の企画運営を行っています。

お問い合わせ

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
仙台市青葉区春日町 2-1
電話 022-713-4483 FAX 022-713-4482
<https://www.smt.jp/>



お知らせ

毎年度開催している「民話 ゆうわ座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、今年度の開催を中止とさせていただきます。
楽しみにされていた方には申し訳ございませんが、ご了承ください。